



# 済生会

わかやま

# NEWS

第17号

発行日: 2010.1

## ～ 理 念 ～

私達は、地域社会に親しまれ、  
信頼され、患者さんも職員も  
元気が出る病院をめざします。

## 新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。済生会和歌山病院も和歌山城のとなりに移転して7年目になり、お城の見える病院として定着してきました。私たち医療従事者にとって、医療の現場におけるさまざまな問題点や課題を克服し、医療の質を向上していくことは医療者の永遠のテーマであります。当院は今年もこのテーマに取り組んでまいります。

昨年は12月12日に当院が当番となって和歌山県勤労福祉会館（プラザホープ）で第5回日本医療マネジメント学会和歌山地方会第5回学術集会を開催しました。メインテーマは「スキルミックスとチーム医療～安全安心の医療をめざして～」をとりあげ、活発な討論が行われました。このテーマは当院の基本方針の一つである「患者さんの立場に立って、安全で質の高い医療を効率的に提供する」とことと大きな関連があります。医療はチームプレーそのものです。医師、看護師、薬剤師、放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、検査技師、医療ソーシャルワーカー、事務職員やその他スタッフがそれぞれプレーヤーです。ここでスキルミックスとはあまり聞きなれない言葉かもしれませんが、「職種混合」や「多能性」と訳されます。この多職種のチーム内部における職種混合のあり方や職種間の権限委譲・代替、新たな職能の新設などを指し示す概念となっています。この多職種の各プレーヤー間の協調のキーワードが「スキルミックス」ということができます。それぞれが専門的な知識と臨床的な技術を持ち、責任ある役割分担と相互ネットワークに支えられた医療専門家集団がスキルミックス型医療を支えます。私はスキルミックスとチーム医療の中で最も大切なことは各プレーヤー間のコミュニケーションであると考えています。それぞれの部署の各プレーヤーがお互いを尊重し助け合い、そして円滑な意思の伝達ができれば安全安心の医療が自然に完成していくものと考えています。

今年も済生会和歌山病院の職員一同は、安全安心の医療をめざしてまいります。そして地域社会に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気が出る病院をめざします。



院長 松崎 交作

## 循環器内科のご紹介

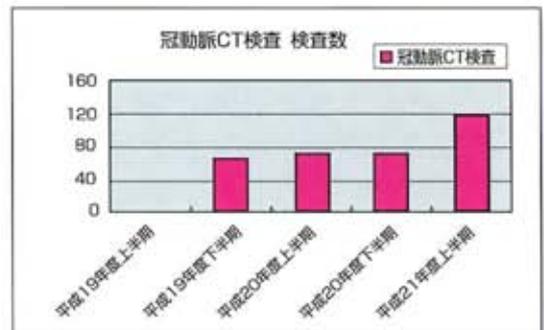
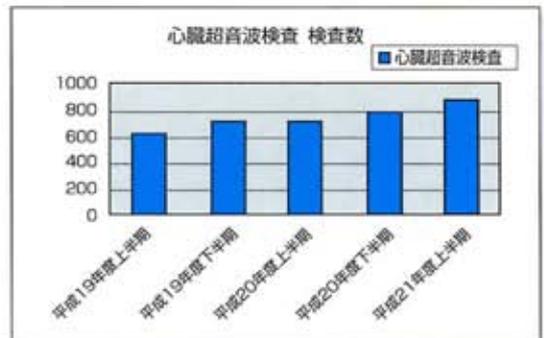
新年のお慶びを申し上げます。済生会和歌山病院・循環器内科は平成21年にスタッフの変更があり、現在は大鹿裕之・片岩秀朗・松本啓希の3人体制となっています。フレッシュなスタッフを得て、よりアクティブに検査・治療にあたっています。

当科では、心臓超音波検査・トレッドミル運動負荷心電図・負荷心筋シンチグラム・冠動脈CT検査などを地域連携室経由で予約できるシステムをとっております。それらのうち、今回は心臓超音波検査、冠動脈CT検査についてご紹介いたします。

心臓超音波検査は心エコー検査とも呼ばれ、循環器診療においては欠くことの出来ない検査となっています。心室・心房の拡大や肥大、心臓の収縮・拡張能、弁の狭窄・逆流などを判断できるだけでなく、心不全状態にあるかどうかも推測することが出来ます。心雑音や心不全の患者さま、心電図異常や胸部レントゲンにて心拡大を認めた場合は、是非地域連携室よりご予約をお願いします。心臓超音波検査報告書に簡単なコメントを添えて、お返しさせていただきます。

冠動脈CT検査は、虚血性心疾患領域において大きな変革をもたらした検査です。今までは、入院し冠動脈造影検査を受けなければ、詳細な冠動脈の状態を知ることは出来ませんでした。一部の症例を除き、冠動脈CT検査によりほぼ冠動脈造影検査に匹敵する情報を得ることが可能です。造影剤を用いる検査ですので、造影剤アレルギーの患者さま、腎機能の悪い患者さまには不向きな検査です。また、不整脈の患者さま、息止めの出来ない患者さまでは正しい検査結果を得ることが出来ません。石灰沈着の強い冠動脈では正確な狭窄度の判定が困難です。しかし、多くの症例では正確な診断は可能であり、一般的な造影CT検査となんら変わりのない検査ですので、狭心症、心筋梗塞精査・胸痛スクリーニング検査として、ご予約よろしくようお願い申し上げます。詳細な冠動脈CTレポートをお返しさせていただきます。

循環器専門医師と臨床検査技師、放射線技師が力を合わせて、検査をさせていただきます。ご予約、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 平成21年4月1日より、当院はDPC対象病院となりました。

DPC(診断群分類別包括評価支払い制度)とは、患者さんの病気・病状を基に手術(処置)施行の有無、合併する病気の有無等によって、国で定められた1日当たりの定額の点数を基本に医療費を計算する新しい方法です。すでに平成15年以降、大学病院をはじめ、急性期医療を主とした全国の医療機関で導入されており、支払い方式の変更だけでなく入院患者さんに対して良質・効率的な医療、また医療の透明化等を図るために実施されました。

当院は、急性期病院としての機能を高めるため、平成21年4月より、厚生労働省の承認を受け、「DPC対象病院」となり、入院医療費の計算方法を変更することになりました。このように従来の「出来高支払い方式」よりの変更に伴い病院運営システムの変更があります。DPCについて、ご不明な点がございましたら医事課までお問い合わせください。DPCへのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## NSTのご紹介

当院では、以前から栄養状態の良くないと思われる入院患者様を対象に、栄養サポートチームNutrition Support Team (NST) が対応しております。床ずれがある方、食欲のない方、やせていて栄養状態の良くない方、食べようとしても食べ物うまく飲み込めず、誤嚥（ごえん）をしてしまう患者様などが、その対象となります。栄養が十分摂取できていない状況では、いくらいいお薬やすばらしい手術で治療をしても、病気がよくならなかつたり、悪化することがあります。栄養サポートチームは、担当の医師だけではなく、病院のいろんな専門職である医師（当院では脳外科、外科、消化器内科）、管理栄養士、看護師、薬剤師、臨床検査技師、言語聴覚士、事務職でチームを組んで、それぞれの専門分野を生かして、患者様を見させて頂いております。さらに最近は、日本病態栄養学会の栄養管理・栄養サポートチーム実施施設として認定されましたので、今後も他の病院といろいろな情報交換をしながらよりよい医療を提供していきたいと思っております。御興味や御要望がございましたら、担当の職員におっしゃって頂ければ幸いです。略して、NST（エヌ・エス・ティー）です。よろしくごお願い申し上げます。



### 第34回 和歌山東臨床研究会

- 日時 2010年2月22日(土) 15:00～17:00
- 場所 ダイワロイネットホテル和歌山



#### 特別演題

長崎大学医学部附属病院検査部講師  
柳原克紀 先生

#### 一般演題

済生会和歌山病院  
発表者未定

参加ご希望の方は地域医療連携室までご連絡下さい

## しおたに循環器内科クリニック 塩谷 雅彦先生

平成18年より三葛の和歌山医大看護学部の隣で循環器内科クリニックを開業しております。私自身は済生会病院では勤務はしていませんが、今でも病棟にお邪魔いたしますと循環器内科で過ごした、旧医大病院の面影が残っておりいつも懐かしく感じております。また各科の先生方も旧知の先生方が多くお顔の見える感じがして大病院にはない親近感を感じます。当初は少し距離があるため、交流は少ないのではと思っておりましたが、和歌山東臨床研究会などの研究会にも参加させていただくことも増え、また近所にも貴院でお世話になり、あるいは通院している方が沢山おられることがわかり、地域医療連携室を利用させていただく機会も徐々に増え、大変お世話になっております。私自身勤務医時代振り返ってみますと、少ない人数で外来、病棟を維持するのでアップアップしていたので、開業後はなるべく、患者さんに接することをモットーとしてできるだけ心電図やエコーを前にあーでもないこーでもないと兎に角じっくりと話を聞いたり、説明をすることを心がけているつもりですが、難しくてもやこしい病状になると、優秀な済生会病院の皆様をお願いすることとなってしまいます。医療崩壊の荒波の大変な時代の中で諸先生、職員の皆様方のご苦勞は並大抵ではないと思っておりますが、近くの頼りになる病院として期待しておりますのでいままでと変わらずこれからもよろしくお願いたします。



# 濟生会和歌山病院外来診療予定表

(平成22年1月1日現在)

区 分		月	火	水	木	金
内 科 糖 尿 病 ・ 代 謝 内 科 消 化 器 内 科	2 診	山原 邦浩	—	山原 邦浩	—	川口 雅功
	3 診	文野 真樹	—	川口 雅功	梅田 恭史	文野 真樹
	4 診	梅田 恭史	江川 公浩	荒古 道子	江川 公浩	荒古 道子
循 環 器 内 科	5 診	片岩 秀朗	大鹿 裕之	片岩 秀朗	松本 啓希	大鹿 裕之
放 射 線 科		—	—	野村 尚三	—	—
脳 神 經 外 科	7 診	仲 寛	中川 真里	乾 芳郎	仲 寛	林 靖二
	8 診	乾 芳郎	—	—	中川 真里	—
外 科 ・ 心 臓 血 管 外 科	8 診	—	高垣 有作	戸口 佳代	—	岩橋 正尋
	9 診	重里 政信	吉田 稔	重里 政信	岩橋 正尋	中村 恭子
	10 診	戸口 佳代	—	吉田 稔	—	—
整 形 外 科	13 診	遠藤 徹	船岡 信彦	新患診	松崎 交作	船岡 信彦
	14 診	平 一裕	納田 和博	—	納田 和博	遠藤 徹
リハビリテーション科	6 階	担当医	西田 秀樹	西田 秀樹	西田 秀樹	担 当 医
耳 鼻 咽 喉 科	15 診	—	—	医大応援医師	—	—
腎 セ ン タ ー	2 階	—	—	—	岡本 昌典	—
眼 科	2 階	医大応援医師	小門 正英	—	井上 章宏	医大応援医師
皮 膚 科	2 階	上中智香子	—	—	山本 有紀	—
泌 尿 器 科	2 階	—	—	佐々木有見子	—	児玉 芳季

※内科 江川 (糖尿病・代謝) 川口 (肝/消化器)  
荒古 (糖尿病・代謝) 文野 (肝/消化器)  
梅田 (糖尿病・代謝) 山原 (肝/消化器)

【受付時間】 午前 (全科) 8時45分～11時00分  
(但し、予約患者さまは除く)

\*土曜日は休診ですのでご注意ください。

## 肝臓病教室

日 程 : 1,3,5,7,9,11月の第3土曜日  
時 間 : 午前10時30分～  
場 所 : 濟生会和歌山病院 7階 多目的ホール

## 糖尿病教室

日 程 : 毎月の第3水曜日  
時 間 : 午後2時～午後3時30分 (要予約)  
場 所 : 濟生会和歌山病院 7階 多目的ホール

## 診療案内

診 察 日 : 月～金曜日  
受 付 時 間 : 午前8時45分～午前11時 (但し、予約患者様はこの限りにあらず)  
休 診 日 : 土・日・祝祭日 (年末年始)  
面 会 時 間 : 月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



## 交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

## 地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187